

NPO 法人ドットジェイピー
インターンシップ事業部
宮城エリア様との意見交換会
(令和3年12月2日開催)

報 告 書

大崎市議会

議会運営委員会

【日時】 令和3年12月2日（木）午後1時30分～午後3時

【場所】 大崎市役所三本木総合支所4階 委員会室1

【意見交換会出席者】

○NPO 法人ドットジェイピー インターンシップ事業部宮城エリア

早坂 憧哉 氏（東北福祉大学）

菅原 希月 氏（東北学院大学）

野家 寛太 氏（東北学院大学）

○大崎市議会

佐藤 弘樹 議会運営委員長

中鉢和三郎 議会運営副委員長

佐藤 講英 議会運営委員

加藤 善市 議会運営委員

関 武徳 議会運営委員

氏家 善男 議会運営委員

佐藤 和好 議会運営委員

小沢 和悦 議会運営委員

相澤 孝弘 議長

後藤 錦信 副議長

【意見交換会経過】

1. 開会 佐藤議会運営委員長
2. 開会のあいさつ 相澤議長
3. 出席者紹介
4. 議会の概要及び活動状況説明 佐藤議会運営委員長
5. 学生からの質問（詳細 次ページ以降）
6. 学生との意見交換（詳細 次ページ以降）
7. 閉会のあいさつ 後藤副議長
8. 閉会 佐藤議会運営委員長

【学生からの質問－質疑応答（要約版）－】

問：大崎市の人口減少・少子高齢化について①

少子高齢化により、人口減少が国全体として、また宮城県としても見込まれており、大崎市も 2045 年までに現在の人口から約 2 万人減ると予想されているが、それに対する施策と今後についての展望は。

答：人口減少は、大崎市として最大の問題だと認識している。御指摘のとおり、大崎市の人口は国勢調査ベースで考えると、2000 年をピークに減少に転じている。2015 年で 13 万 3,391 人だが、2045 年は 10 万 5,700 人という推計になっている。

では、どのような施策を行っているかということだが、国は地方創生総合戦略を閣議決定し計画をつくり、各市町村に対して同様の計画を策定するよう求めた経緯がある。大崎市のホームページにも掲載されているが、大崎市でも平成 27 年度に 5 年間を計画期間とする「おおさき市地方創生総合戦略」を策定し対策に乗り出した。この計画策定以降、例えば、移住・定住政策では、計画期間内に 906 人の方が大崎市に定住されている。この計画は人口減少にブレーキをかけようという施策だが、その成果も出ており、人口減少は予想よりも高いところで留まっている現状である。

問：大崎市の人口減少・少子高齢化について②

令和 2 年度の国勢調査で、人口が増えた市は仙台市、名取市、富谷市、多賀城市の 4 市だけだが、これらに共通することは、都市圏への利便性、比較的大きな規模の企業が存在していることなどだと思う。大崎市はこの 4 市に比べて利便性や企業の誘致において、あまり知名度が高くない印象を持つ方が多いと実感している。

また、大崎市はこれらの市と比較し、良い点を挙げるとするのであれば、自然環境の豊かさが魅力的であると感じる。

そこで、国が推進しているワーケーション事業など、主に働く若い世代(30代、40代くらい)に大崎市に一度でも来てもらうきっかけづくりなどしていく必要があると思うが、現状でそのような施策は議会でも議論されているのか、また議論されているのであればどのように進めていくつもりなのか聞きたい。(もし、議論されていないのであれば一市民の意見として、このような意見もあると落とし込んでいただくと幸いです。)

また、今の若者に求めるものは何か。率直な意見をお聞かせ願いたい。

答：大崎市としてもワーケーション受け入れのための講習会を開催している。

また、受け入れるための環境整備を進める予算も議決し、要望を受け付けている。これまで17施設から要望があり、順次ワーケーションを導入する施設が増えていく予定である。

また、地の利ということで、鳴子温泉地域にもキャンプ場があるが、敷地内で利用できるWi-Fi環境も整備している。

問：大崎市の課題と、それに対して今行っている施策について、大きく3つ教えて頂きたい。

答：大崎市の課題は、人口減少が一番大きな問題である、今後は尚更、自治体間の競争も踏まえ、人口減少もくいとどめながら存続していかなければならない。世代によってニーズが異なるので、大きく3つということは難しいが、各所管における施策の充実や、社会情勢を踏まえた支援策が求められると考えている。

問：ふるさと納税について

使い道として、未来を担う人材の育成のための事業とあるが、具体的にどのような活動等を行っているのか詳しく伺いたい。

答：大崎市にも大変多くの方から納税頂いており、令和2年度の納税額は2万7,000人から4億2,700万円となっている。

未来を担う人材の育成のための事業としては、公園の遊具修繕や図書購入、小中学校の備品購入、保育所の施設改修に活用されている。

寄附者のことを考えると、形に残るものという使われ方をしているが、学生の奨学金に充てる制度に活かしてもいいのではないかとの思いもある。

問：世界農業遺産について

大崎耕土が世界農業遺産に認定されるまでに、地形の原因などを解決するにあたって困難な場面が多くあったと思うが、特に課題解決が難しかった点などがあったのか伺いたい。

答：江合川・鳴瀬川という大きな2つの河川を抱える大崎耕土では、堰を造り必要なところに水を引き込む仕掛けを造っている。また、^{ずいどう}隧道、^{あなげき}穴堰、用排水路、ため池、遊水池等を巧みに活用する事で水害や水不足に対応する機能を整えて今日に至っている。

また、寒さなどから守るために、居久根（屋敷林）がある。これは屋敷の北西側に樹木を植え、自分達の住まいする家屋や敷地内にある畑作を守るためのもので、この居久根は独特の景観をつくりだしており、世界農業遺産認定の評価にも繋がっている。

問：鳴子温泉が大好きで、以前は二週間に一度のペースで鳴子温泉に行っていた。以前に比べると活気がなくなったと感じているが、何か温泉街に特化した政策はないのか聞きたい。

答：現在、鳴子温泉郷に行政として力を入れていることは種々あるが、特に誘客のための施策を継続的に実施している。現在は新型コロナ禍で観光客が大変少なくなっている現状があり、経営が破綻しないよう行政としても支援している現状である。

また、キャンプブームもあり、鬼首地区のキャンプ場が非常に好調である。

観光施設整備や誘客のための施策を着実に進めることで、鳴子温泉地域の活性化を図ろうとしている。

【意見交換①－学生からの話題（要約版）－】

問：選挙について、私たちの団体は若年層の投票率の向上に取り組んでいるが、何か議員側で考えている部分はあるのか伺いたい。

答：この様な機会を持たせて頂いたことに感謝している。若年層の意見や要望を聴取する場として、過去には市内の高校生ともこの様な交流を行ってきた。

議会に関心を持って頂く手法として、SNSの活用や積極的な情報発信も大事だと考えている。

提言：ワーケーションについて、学生目線からすると卒論や宿題、レポートで利用し、高齢者であれば、私の祖父母などは書籍を読みたい等の気持ちがある。そういった若者や高齢者にフォーカスを当てたワーケーションを考えて頂けると、私達の世代も鳴子温泉地域などに行きやすいのではないかと思う。

【意見交換②－議員からの話題（要約版）－】

問：ワーケーションは便利でいいものだと思うのだが、個人のゆとりを制限するのではないかという思いもあるがどうか。

答：価値観でいうと、年功序列と終身雇用が無くなり、自分自身の能力を上げていかなければいけない。休みつつ仕事をしつつということでも、利用の仕方で生産性が上がると思う。ワーケーションなども活用して仕事能力の向上を図ればというのが私の所感である。

意見交換会記録写真

